

## 研究機関名：旭川医科大学

承認番号	18130
課題名	疼痛治療における院内特殊製剤 1.5%ケタミン親水軟膏の有用性の検討
研究期間	西暦 2018 年 12 月 5 日～2023 年 11 月 1 日
研究の対象	2012 年から 2017 年の過去 5 年間に当院にて 1.5%塩酸ケタミン軟膏の処方を受けた患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、受診科、病歴、治療歴、副作用の発生等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	<p>痛みの治療にケタミン（麻薬）が効果あることは広く知られています。しかしケタミンは痛みに対して良く効くのと同時に副作用（傾眠、不快感、悪夢）も報告されています。この副作用はケタミンを軟膏という形で使うとより少ないと言われてはいますが、現時点では詳しい調査は行われていません。またこの軟膏がどういった病気によりよく効くのかも、長期間の調査は行われていません。本研究によってケタミン軟膏の効果について詳細がわかると、軟膏を処方できる病気の範囲も広がり、より患者さんが痛みと付き合い易くすることが可能と思われます。</p>
研究の方法	2012～2017 年の過去 5 年間、当院にて 1.5%ケタミン親水軟膏の処方を受けられている患者さんを電子カルテから調べ、統計学的方法で、軟膏の効果と年齢・性別・病歴・鎮痛の程度・副作用の有無などの項目の関係性を調べます。
その他	研究は過去にさかのぼって実施するので、研究の結果が患者さんの健康などについて影響を及ぼすことはありません。そのため本研究で得られた結果を研究対象者へお伝えする予定はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  住所：北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号  電話：0166-68-2583  旭川医科大学病院 手術部・麻酔蘇生学講座  小野寺 美子  研究責任者：  旭川医科大学病院 手術部・麻酔蘇生学講座 小野寺 美子</p>